

<(3)学年の重点指導目標(学習指導要領)>

- ① 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
- ② 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする
- ③ 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

月	学習事項	目標	時数	評価規準
4	日本の音楽「花」ICT	・日本の歌の曲想と音楽の構造歌詞の内容を理解し、創意工夫した表現で歌うための技能を身に付ける。	4	ア) イ) 日本の歌の歌詞の意味や背景にある情景や心情、歌詞の構成を理解し、自己のイメージを活かして歌唱表現を創意工夫する。 ア) 楽曲のリズムの特徴や詩と音楽との関わりを感じ取り、歌唱表現する技能を身に付ける。 ウ) 歌唱表現に主体的、協働的に取り組んでいる。
5	標題音楽の鑑賞「ブルタバ」ICT デジタル教科書	・管弦楽の響きを味わい、鑑賞に関わる知識を得たりいかしたりしながら音楽のよさや美しさを味わって聴く。	4	ア) 標題をもとに、曲想の変化と音楽で表そうとしている内容を理解する。 イ) 鑑賞に関わる知識をいかしながら曲や演奏に対する根拠について考え、管弦楽の多彩な響きや音楽の美しさを味わって聴いている。 ウ) 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、主体的、協働的に取り組んでいる。

6	アルトリコーダー 「威風堂々」	・楽器の特性、音楽の構造を理解し、全体の響きを聴きながら合わせて演奏する技術を身につける。		ア) イ) 器楽表現に関わる知識を理解し、技能を得たりいかしたりしながら器楽表現を創意工夫している。 ウ) 器楽表現を創意工夫する学習に主体的、協働的に取り組んでいる。
7	合唱の喜び(課題曲)	・創意工夫を生かし全体の響きや各声部の声を聴きながら他者と合わせて歌う技能を身につける。	5	ア) 声の音色や響き、及び言葉の特性と曲種に応じた発声の関わりを理解する。 イ) 曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。
9	合唱の喜び(自由曲)ICT	・創意工夫を生かし全体の響きや各声部の声を聴きながら他者と合わせて歌う技能を身につけ、歌唱表現を工夫してうたう。	7 +	ウ) 歌唱表現、合唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしながら主体的、協働的に取り組んでいる。 2 ア) 曲想と音楽構造との関わりについて理解している。
10	英語の「Let it be」 ICT	・英語の語感をいかしたリズムや雰囲気にあった歌声を表現する技能を身につける。	2	ア) イ) 英語の語感をいかしたリズムや、雰囲気にあった歌い方を工夫し、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。
11	曲の背景を知って名曲を聴く 「西洋音楽史」ICT	・曲の特徴やその背景となる文化、歴史や他の芸術と関連付けて理解し音楽のよさ、美しさを味わって聴く。	3	ウ) 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしながら主体的、協働的に取り組んでいる ア) 作曲された時代背景や作曲者の心情を理解し、音楽の特徴を理解する。 イ) 鑑賞に関わる知識を得たりいかしたりしながら曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。
12				ウ) 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、主体的、協働的に取り組んでいる。
1	世界の音楽・ポピュラー音楽に親しもう。ICT	・世界に知られている色々な音楽の良さを感じ取り、多様な音楽を理解する。	3	ア) ウ) 地域の特徴や様式の違い、音楽を支える風土や文化、歴史、言語や発声の多様性を理解し、学習に主体的、協働的に取り組む。

2	能「敦盛から」ICT デジタル教科書	・日本の古来の音楽の魅力を感じ取り、 伝統音楽に親しみ音楽の良さ、美しさを 味わってきく。	2	ア) 日本古来の音楽、能の特徴とその背景となる文化や歴史、音楽の特徴を理解する。 ア) イ) ウ) 能の特徴、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解し、音楽表現の共 通性や固有性について音楽のよさを味わって聴く。主体的に取り組んでいる。
3	卒業式に向けて（式歌・合唱）	・式歌や合唱を豊かな響きと美しいハー モニーを理解し、3年間のまとめとして 主体的・協働的に取り組む。	3	ウ) 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしながら3年間のまとめとして、主体的、協 働的に取り組んでいる。 イ) 全体の響きを聴きながら他の声部と合わせて歌う技能を身につけている。

<補充教材（発展的内容）の取り扱い>

- ・合唱曲集「マイソング」
- ・アルトリコーダー

<評価の方法>

- 観点1ア) (知識・技能) : 実技テスト、筆記テスト、課題提出の内容、
- 観点2イ) (思考・判断・表現) : 実技テスト、授業への取り組み、課題提出の内容、行事への取り組み、
- 観点3ウ) (主体的に学習に取り組む態度) : 授業へ取り組み、行事への取り組み、課題提出の内容、筆記テスト、自己評価カード

<評定算出にあたっての重みづけ>

観点	観点1 知識・技能	観点2 思考・判断・表現	観点3 主体的に学習に取り組む態度
重みづけ	1	1	1

